

# 住宅用火災警報器が鳴った時の対処方法

## 対処方法

1. 本体のボタンを押す、又は紐を引く。(一定時間後に再感知すれば警報音はなりません。)
2. 感知部分のほこりを清掃する。

\*上記でも対処できない場合

住宅用火災警報器は故障や電池切れでも鳴りますので、詳しくは説明書を参考にしてください。説明書を失くした場合は、日本火災報知器工業会のホームページ

[http://www.kaho.or.jp/text/user/awm09\\_p01.html](http://www.kaho.or.jp/text/user/awm09_p01.html) で住宅用火災警報器が鳴った時の対処方法が掲載されていますので、該当する警報器の説明を参考にしてください。

## 住宅用火災警報器はどんなときに鳴るの？

1. 火災で煙や熱を感知したとき。
2. 料理等の水蒸気を感知したとき。
3. 感知部分にほこりがたまったとき。
4. 故障したとき。
5. 電池が切れたとき。

## 住宅用火災警報器が鳴る仕組み

住宅用火災警報器は、右図の様に発光ダイオードの光が煙に当たり屈折し受光部に光が届くことで警報音になる仕組みになっています。

料理の煙、ほこり、水蒸気やスプレーでも煙と同じように警報が鳴ることがあります。

誤作動を防ぐためにも、定期的な清掃や点検による維持管理をしてください。

